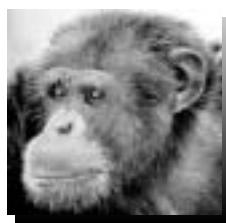


ポンタ・♂



担当者曰く“普段は素直で言うことを聞いてくれるんだが、一度本気で怒るとガンコで”怒りが収まるのを待つかない”と。でも俺、怒ってる時のコトはよく覚えていなーいんだ…。

ユミノスケ・♂



何に対しても無関心。人のことはほとんど聞いていません。反面、担当者に逆らう事もめったにありません。僕って変ですか？

ノリコ・♀



わたし、面倒くさがり屋で寝てる事が多いの。でも仲間のミユキがユミノスケにいじめられれば仲裁に入るのよ。ね、あたしつて面倒見いいでしょ。

シェーン・♀



私は担当者はかなり気を遣っている様子。気持ちの波が激しく、自分でも抑えきれずヒスを起こしたり、油断している担当者を見ると、思わずちょっとかいを出したくなるのヨ！

ミユキ・♀



担当者は“つかみどころのない性格”と言うの。放飼場に出ると、仲間への挨拶もないで食べ物に夢中になっちゃって、よくユミノスケにしかられちゃうの。

新世界（南米大陸）ザル代表 ノドジロオマキザル

ほかのサルはユーラシア、アフリカ大陸で進化し続けたんだけど、マーモセットやリスザルそしてわたしたちは、南米大陸がアフリカから分離して独自に進化したんですって！なぜか鼻の穴が外に向いているんです。ところで自分で言うのもなんですが、とても“賢く”南米のチンパンジーという人もいるんです。手先もシッポも“器用”なのヨ。

私たちの群れは家族の結びつきがとても強いのヨ。人間ともコミュニケーションとっちゃうんだから。



大森山動物園のサル

No.	種名	分類	原産地	飼育舎	オス	メス	不明	計
1	コモスマーセット	マーモセット科	ブラジル北東部	新世界サル舎	2	2	1	5
2	ワタボウシパンシェ	"	中南米	"	1	1		2
3	ボリビアリスザル	オマキザル科	"	"	1	7		8
4	ノドジロオマキザル	"	中米	"	2	2	3	7
5	エリマキキツネザル	キツネザル科	マダガスカル	サル舎	3	1		4
6	ワオキツネザル	"	"	"	3	2	2	7
7	アビシニアクロブズ	オマキザル科	アフリカ大陸中央部	"	2			2
8	ダイアナモンキー	"	西アフリカ	"	1			1
9	マントヒヒ	"	エチオピア～アラビア半島	"	1	2		3
10	ニホンザル	"	日本(本州以南)	サル山	22	23		45
11	チンパンジー	ショウジョウ科	西・中央アフリカ	チンパンジーの森	2	3		5
計					40	43	6	89

5種の生息地



系統的な分類

たちは白抜きです

※1 猿猴類 … 鼻の穴が狭く、下に向いている
※2 広鼻猿類 … 鼻の穴が大きく、外側に向いている

(セツ、オマキザル等)

オナガザル類
(旧世界ザル、ニホンザル、アビシニアコロブス、マントヒヒ等)

ヒト上科 **テナガザル** (ボウシテナガザル等)

類人猿 (チンパンジー、オランウータン等)

ヒト(人)